

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
奄美大島へのアクセスの改善について	<p>沖縄や全国から簡単に奄美大島に来れる手段ができるなら、観光はものすごく楽になると思う。</p>	<p>新規路線の就航や増便の実現に向けては、航空事業者の意向が重要であり、また、年間を通じた需要の掘り起こし等の課題もあるところです。</p> <p>県においては、奄美群島振興交付金を活用して、航空事業者とのプロモーション実施や運賃軽減を通じて、群島間の周遊や首都圏等からの誘客促進などの需要喚起に取り組んでおります。</p> <p>引き続き事業者の意向把握に努めるとともに、新規路線就航等に向けた働きかけを行ってまいります。</p>	交通政策課
漁業所得の向上及び後継者の確保	<p>クロマグロ養殖業事業者、真珠養殖業事業者、それとクルマエビ養殖、最近、もずくの養殖も行っている。一方、漁船漁業については、組合員の高齢化等の影響から、水揚げ高は減少気味で、漁業のみで生計を立てるとい組合は極めて少ない状況。</p> <p>組合としては、儲かる漁業をやっていきたくており、漁船漁業者の漁業所得の向上を図り、後継者の確保に力を入れていきたい。本土からUターンやIターンで島に帰ってきたときに、漁業が雇用の場としてなれるよう、続けていきたい。</p>	<p>県としては、沿岸漁業の振興対策として、スジアラの種苗生産・放流、藻場造成技術の開発や藻場回復活動への支援、及び浮魚礁等の漁場整備を行っています。</p> <p>また、担い手の確保・育成を推進するため、鹿児島県漁連と連携してかごしま漁業学校での漁業研修を実施するとともに、今年度から新たに地域の関係者が一体となって新規就業者の所得向上や漁業への定着をフォローアップする体制構築を支援しているところです。</p> <p>引き続き、漁業所得の向上及び担い手の確保に向けた各種沿岸漁業の振興施策を推進してまいります。</p>	水産振興課 漁港漁場課
農産物の島外への輸送について	<p>台風等の際に送れない、農産物をどうにか、こう、島外に送れるような、方法がないか。</p>	<p>台風等の際に送れない農産物を活用したジュース等の加工食品開発については、大隅加工技術研究センターの施設開放や技術指導等を通じ、商品開発支援を行っているところです。今後とも、事業者の個々の課題に応じたきめ細やかな支援に努めてまいります。</p>	かごしまの食ブランド推進室
輸送コスト支援事業について	<p>奄振交付金の中で、輸送コスト支援事業というのがありますが、企業や団体などは使いやすい事業だとは思いますが、私たちのような個人農家や、栽培品目の土地面積の少ない作物などでは、なかなかその事業を使うことができない。</p>	<p>奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業は、農業協同組合だけでなく、家計を別にする農林漁業者3人以上の構成員がいるなどの一定の要件を満たした「農林漁業を営む者の組織する任意の団体」も補助対象となっています。詳しくは、市町村役場にお尋ねください。</p>	離島振興課

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
農業研修生について	<p>農業研修生について、宇検村在住だと奄美市と瀬戸内町で実施している農業研修を受けることができない。県下どの市町村に住居があっても、（居住地以外の市町村で実施している）農業研修が受けられるような制度にしてほしい。</p>	<p>奄美市と瀬戸内町は、それぞれ市町が主体となって奄美市農業研究センターと瀬戸内町営農支援センターを設立し、研修後それぞれの市町で就農を希望する方を対象に、農業研修を実施しているところです。</p> <p>一方、県は、県立農業大学校において、長期に実践的な農業研修が受けられる「就農・就業チャレンジ研修（宿泊可）」などを実施していますので、研修内容・募集等については、同校農業研修課へご相談ください。</p> <p>また、各地域振興局・支庁に「就農相談センター」を設置し、就農希望者に対して、市町村と連携しながら相談に対応しているところです。</p>	経営技術課
離島・へき地の子どもたちの下宿や寮、生活費の助成について	<p>離島・へき地の子供たちが、大学進学という進路希望を持てるように、県として、（親元を離れて生活している子どもの）下宿や寮や、生活費の補助をお願いしたい。</p>	<p>県では、県育英財団を通じて、大学等入学時に必要な入学金及び前期授業料相当額を貸与する「大学等入学時奨学金制度」を実施しています。</p> <p>奨学金の返還については、新型コロナウイルス感染症等の影響で返還が困難な場合、「返還猶予制度」を設けています。</p> <p>また、大学等在学時に日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けた者が大学等卒業後に県内に居住及び就業した場合、奨学金の返還を支援する「大学等奨学金返還支援制度」を実施しています。</p>	総務福利課
楠集中高の女子寮の整備について	<p>女子の大学進学率の低さの解決策の一つとして、知事のマニフェストにある県立楠集中高一貫校の共学化及び全寮制の撤廃について、ぜひ女子の寮についても検討してほしい。</p>	<p>楠隼校の共学化等については、生徒や保護者を含め、周辺市町などの関係者の意見も伺った上で、施設の改修やそれに係る財源の確保などを考慮しつつ、そのスケジュールや進め方について検討を進めているところです。</p>	高校教育課
空き家について	<p>市町村が把握している空き家の課税対象者を教えてもらえれば、登記名義人との関係性を聞き、その物件の権利者にたどり着ける可能性が出るが、現在の個人情報保護法では、不動産業者は、それ以上知ることができない。</p> <p>不動産業者に個人情報を開示できる方法、もしくは何かほかにもいい方法がないか。</p>	<p>空き家対策の推進に関する特別措置法では、空き家対策に取り組む市町村が役所の内部で利用する場合に限り、固定資産税の課税情報等を取得することができることとされており、不動産業者への情報提供はできないことになっています。</p> <p>空き家対策は地域の方々の協力が不可欠ですので、今後とも村役場への空き家に関する情報提供など御協力をお願いします。</p>	住宅政策室

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
奄美大島独自の販路について	<p>奄美大島が自立できる販路を作っていくことが必要。それが10年後、子供たちが地元で何か産業に取り組む上で、必要なことだと思う。</p>	<p>県においては、輸出先国の規制等に対応するための生産体制の構築の支援や、県内商社の営業活動支援を通じて県産農産物等の輸出販路開拓に取り組むほか、貿易相談やセミナーを実施することで、県内企業の輸出促進を支援するとともに、輸出商談会や県産品を使った海外フェアを開催し、県産品の認知度向上や販路拡大を図っております。</p> <p>また、水産物の海外販路開拓の確立については、現在輸出先国でのマーケットイン型の商品へのニーズが高まっていることなどから、生産者や加工業者等が一体となった新商品開発などの取組について支援しております。</p> <p>今後とも、販売促進、商談等に係る取組への機会を的確に捉えながら、本県産品の認知度向上、販路開拓、ひいてはブランド力の向上に繋げられるよう、支援してまいります。</p>	<p>かごしまPR課 かごしまの食輸出戦略室 水産振興課</p>
奄美ブランドについて	<p>鹿児島ブランドはもちろんだが、奄美ブランドというのも作っていただけたらなと思う。</p> <p>奄美大島の人が自然とともに生きてきたという背景もあるので、そういったストーリーも含めて、奄美ブランドというものがもう少し確立できれば、販売できるときにしっかりと利益を得ることができるのではないかと。</p>	<p>県では、食品関連企業を対象に、商品開発や販路開拓、海外認証取得など事業者のニーズに応じた一体的な支援を行うとともに、海外への取引拡大を検討している県内製造業者を対象に、海外商談会・展示会への出展支援等を行っているところです。</p> <p>また、加工食品等の輸出拡大を図るため、食品製造業者等が行うHACCP等の認証取得に向けた施設の改修や機器の整備等の支援も行っています。</p> <p>水産物の海外販路開拓の確立については、現在輸出先国でのマーケットイン型の商品へのニーズが高まっていることなどから、県では生産者や加工業者等が一体となった新商品開発などの取組について支援しているところです。</p> <p>今後とも、販売促進、商談等に係る取組への機会を的確に捉えながら、奄美産商品の認知度向上、販路開拓、ひいてはブランド力の向上に繋げられるよう、支援してまいります。</p>	<p>産業立地課 水産振興課</p>

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
介護保険事業所への支援について	<p>今後、宇検村のような町村や小さな事業所では、経営が逼迫し、事業を廃止することも考えられ、地域の福祉が崩壊する可能性がある。地域共生が求められる中、住民が望む場所、望む島で暮らし続けるためには、それぞれの地域、町村に訪問介護事業は必須と考える。</p> <p>知事の方から、国の方へ、離島・へき地ならではの、介護保険事業への支援策を要望してほしい。</p>	<p>県では、介護事業所が提供する介護サービスや介護予防サービスの利用者が少なく、介護事業所の継続的な運営が困難な地域について、介護サービスが安定的に提供されるような財政支援策を創設するよう国へ要望しているところであり、今後も引き続き地域の実態を踏まえて要望してまいります。</p>	介護保険室
福祉人材不足の解消について	<p>最近では、どの職種も人材不足とよく聞かれますが、福祉人材も深刻な人材不足。</p> <p>働きながら福祉の資格が取れる制度の充実や、出身者の高校大学卒業生、また都会の出身者への資格取得の助成をして、その方が、鹿児島島に帰って働けるような新たな仕組みなどを作ってしまうと、福祉人材不足の解消と、人口増にもつながるのではないかと。福祉人材不足解消につながる政策を知事にお願いしたい。</p>	<p>県では、県社会福祉協議会に福祉人材センターを設置し、無料職業紹介や就職説明会など、福祉人材の確保に取り組んでいるところです。</p> <p>このほか、介護現場で働きながら介護資格を取得できるよう人件費や研修に係る費用を助成する「介護人材確保対策事業」や介護人材の確保がより一層困難な離島・中山間地域等において、大都市圏をはじめとする地域外の人材の参入を促進するため、就職に必要な費用の助成や、事業所が行う地域外での採用活動を支援する「離島・中山間地域等における介護人材確保支援事業」や、他産業で働いていた方や福祉系高校の学生に対する返済免除付きの貸付を実施し、介護人材の確保に努めているところです。</p>	社会福祉課 介護保険室
祝祭日における国旗掲揚について	<p>以前、大島地区の総合社会教育研究大会なるものがあり、そこで各市長さんから約1500名の方が、地域の課題解決のためにいろいろと議論がなされ、その決議文の中に、国民の祝祭日には国旗を掲揚しましょうという意向がずっと謳われていたが、最近、そのようなことも聞かなくなりました。</p> <p>今後の青少年教育のためにも、やはりこの日本の美しい心や、伝統文化をするのはやはり、日の丸を通した大事なものもある。</p> <p>知事の方で、祝祭日の各家庭における日の丸の国旗の掲揚について、掲揚する雰囲気ができないか。</p>	<p>学校においては、我が国の国旗・国歌はもとより、諸外国の国旗・国歌に対する正しい認識と、それらを尊重する態度を育てる学習を行っているところです。</p>	義務教育課 高校教育課

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
生鮮物の航空輸送便数について	<p>新鮮さ重視の生鮮物は航空輸送への依存が大きいですが、コロナの影響が出始めた頃から機材の縮小、減便で苦しい状況になっている。</p> <p>（現在午前1便のみの体制を）午前午後の2便体制であれば、各生鮮物も午後遅くの便に飛行機に搭載して、翌日朝の市場の競りに間に合うと。そして現場も余裕のある仕事ができると思うので、利用客をふやしたり、安定した運行などの対応策をお願いしたい。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響による航空需要（人の移動）の減少により、航空会社においては、1日複数便を運航する路線を中心に減便や機材の小型化を行っており、減便状況等は就航地の感染状況に大きく左右されているところです。</p> <p>県においては、離島路線を運航する航空会社に対して、安定的な運航継続のため支援金を交付するなど取り組んでおり、引き続き運航便数の維持・確保を図ってまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、航空会社へお伝えいたします。</p>	交通政策課
赤土山線のトンネル整備について	<p>県道85号線の赤土山線にトンネルを整備してほしい。</p>	<p>県道85号湯湾新村線のトンネル整備については、多額の事業費を要することなどから、厳しい財政状況を考慮すると早期の事業化は困難であると考えております。</p> <p>まずは、事業中箇所での早期整備に努めてまいります。</p>	道路建設課
自然エネルギーの有効活用について	<p>自然のエネルギーの有効活用、台風災害に強い、電力供給もお願いしたい。自然の中の環境を大幅に変えてまでの無理なソーラー発電、風力発電等は望まないが、公共施設等の屋上などの有効活用などは、子供たちの教育のためにもよいと思う。</p>	<p>県における地産地消型再生可能エネルギーの導入については、これまで、市町村と連携し、エネルギーを地産地消するまちづくりなどに取り組んできました。</p> <p>今年度は、県立奄美高校屋上に蓄電池を併設した太陽光発電設備を設置することとしているほか、民間事業者等が、燃料電池自動車や蓄電池等の自立分散型エネルギー設備を導入する際の支援を行うこととしています。</p>	エネルギー政策課

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>コロナの影響を受けている様々な業種に対する支援について</p>	<p>クルマエビの養殖においても、運送業、航空運送、市場、仲買、飲食店と繋がっており、幾つもの業種の方々が関係しているので、（飲食業などと）平等な支援、対策等を望む。</p>	<p>昨年初めからの新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国においては、中小企業等の事業継続や雇用維持のため、全ての業種を対象に持続化給付金、家賃支援給付金、月次支援金、雇用調整助成金等の給付や政府系金融機関による実質無利子・無担保融資といった様々な支援事業を実施してきています。</p> <p>県においても、全ての業種を対象に事業者の資金繰り支援や事業継続のための支援金の整備・拡充などに取り組んできております。</p> <p>また、小売業者などの感染防止対策に対する支援や運行経費等に対する補助等を通じた交通事業者支援なども実施してきております。</p> <p>さらに、観光や飲食サービス、農林水産物、特産品等の需要喚起策のほか、飲食店・宿泊施設の第三者認証及び感染防止対策に要する経費の支援なども行っております。</p> <p>県としては、制度の普及や周知を行い、引き続き県内経済の動向を注視しながら、県内事業者を支援するための取組を切れ目なく迅速に講じてまいりたいと考えております。</p>	<p>商工政策課</p>
<p>若者の人材確保について</p>	<p>養殖場でも人材確保に苦労している。若い人が移入しやすい環境整備、過疎化防止に、早めの対応をお願いしたい。</p>	<p>県では、若者等の県内定着を促進するため、県の広報媒体等を活用し、鹿児島で働き暮らすことの魅力やメリットを県内外に広く発信するとともに、高校生等を対象に経営者や技術者を招いた出前授業や講演会への講師派遣等を実施し、地元で働き暮らすことの意義等についての啓発を図っているところです。あわせて、合同企業説明会やU I ターンフェアの開催による県内企業の紹介等を通じてその魅力発信に取り組んでいます。</p> <p>また、若者等のU I ターンの促進を図るため、就職情報提供サイト「かごJob」による県内企業の紹介等により、県内企業の魅力を効果的に情報発信するとともに、東京、大阪及び鹿児島に設置しているふるさと人材相談室による職業紹介・職業相談を行っております。そのほか、本県内で行うインターンシップや採用面接に参加する県外の学生等に交通費等を支給する県内企業等の支援を行っております。</p> <p>今後とも、これらの取組の充実を図るなど、若者の定着促進に努めてまいります。</p> <p>なお、漁業の担い手の確保・育成については、鹿児島県漁連と連携し、新規就業者に対する相談窓口の設置や就業フェアでの広報活動を実施しているところです。</p>	<p>商工政策課 雇用労政課 水産振興課 高校教育課</p>

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
漂着軽石について	<p>漂着軽石について、かなりの量が確認されており、漁業、船舶、あと養殖に被害が見られ始めている。こちらの方も、ちょっと個人の手でどうにもなりそうな量ではないので、早めの対策をお願いしたい。</p>	<p>県では、国の関係機関や関係市町村等と情報共有を図るとともに、除去が必要な箇所は、連携して原状回復に取り組んでいるところです。</p> <p>11月16日に、関係省庁を訪問し、対策に係る国庫補助金の所要額の確保等の要望を行い、国の補正予算において大幅な増額が図られたところであり、県では、12月補正予算に、国の補正分や県単独分により、軽石の回収処理等に要する経費を計上し、今後、軽石の回収処理等を推進していくこととしています。</p> <p>引き続き、国の関係機関や関係市町村等と連携し、必要な対策や支援を行ってまいります。</p>	危機管理課
地域防災について	<p>今後の防災計画や防災訓練等を準備していくために、知事の方からアドバイス等があれば教えてほしい。</p>	<p>県では、防災計画の作成や防災訓練など、地域の防災活動の指導的役割を担う地域防災推進員の養成や、県の防災アドバイザーを活用した出前授業等を実施しています。また、地区防災計画の策定に係るモデル事業を実施し、計画策定の支援を行っています。</p> <p>今後とも、市町村と連携を図りながら、地域における防災活動の取組を支援してまいります。</p>	災害対策課
農産物加工食品の商品開発等に関する研修会について	<p>県が主催する研修会或いは講習会があつて、そこに参加すると、他の参加者との情報交換によって、多くのことを学ぶことができる。</p> <p>最近では、コロナの関係で、なかなか研修会とか講習会を開催するということができないような状況なので、これがコロナ患者が少なくなって、或いは収束まで行かなくても、落ち着いてきたら、この研修会や講習会等を計画されて、いろいろな意見交換の場ができればありがたい。</p>	<p>加工食品の商品開発等に関する研修会や講習会については、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、感染防止対策を徹底した上で積極的に実施するよう努めてまいります。</p>	かごしまの食ブランド推進室

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
グリーンモビリティを活用した観光について	<p>今年宇検村の方は、エコなグリーンモビリティという車を入れまして、その車で、観光の方に使えるんじゃないかということで話も進んでますが、この車をですね、できたら、奄美観光連盟の方にもですね県の方でもし配置していただければ非常にありがたい。</p>	<p>グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスであり、従来の公共交通ネットワークを補完することにより地域が抱える交通等の課題解決するとともに、脱炭素社会の確立を実現するものとして、国（環境省等）において導入の支援をしています。奄美観光連盟にも、国の導入支援を紹介したところです。</p>	地球温暖化対策室
国立公園内での動植物の取り扱い等について	<p>奄美群島が世界自然遺産になって、国立公園となり、自然に対する盗掘とかそういうのは公園内では全て禁止というふうに聞いている。そういう中で公園内に入って、林道に出てくるハブについての対応はどうしたらよいか。 道路脇に生えている小植物について、国立公園指定の地域では、（盗掘禁止について）指定のものがある。それが盗掘などでかなり減少しているという話をよく聞かすが、盗掘に対する対応について聞きたい。</p>	<p>国立公園の特別保護地区での動植物の捕獲・採取については、事前許可が必要です。 また、特別地域では種によって事前許可が必要です。 ただし、ハブ及びヒメハブの捕獲については、法による規制が適用除外となるものもあります。 県では、法令や条例で捕獲や採取を禁止している希少野生動植物の盗掘などを防止するため、希少野生動植物保護推進員や自然保護推進員、関係機関等によるパトロールや住民等への普及啓発に取り組んでいるところです。</p>	薬務課 自然保護課
養殖漁港の整備について	<p>本土と離島では、養殖に係る漁港整備に差がある。離島の養殖に適した漁港設備を整備していくという計画はないのか伺いたい。</p>	<p>漁港整備については、本土や離島、海面漁業や養殖漁業等の漁業種別に関係なく、漁業の現況や課題を各漁港毎に整理し、対応策の検討や整備に伴う費用対効果等を勘案して、漁港整備の計画を検討しております。 漁港には県管理、市町村管理の別があり、各漁港管理者において必要となる整備を行っていますが、現在利用されている芦検漁港は、宇検村管理の漁港であるため、まずは宇検村へ御相談いただきますようお願いいたします。 県では、引き続き、宇検村が事業実施を進めるにあたり必要となる技術的支援等を行ってまいります。</p>	漁港漁場課

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
島唄記念館の整備について	宇検村は坪山豊さんなど、島唄が盛ん。奄美の中で島唄記念館みたいなのがあったらどうか。	<p>県としては、島唄記念館のような施設整備にこだわることなく、島唄を文化として維持・継承する取組が必要と考えています。このため、県では、奄美パークにおいて、奄美の自然や食の魅力とあわせて、島唄等の伝統文化などを映像や展示物により情報発信しています。</p> <p>また、平成23年度から25年度にかけて、「奄美島唄保存伝承事業」を実施し、「歌い継ぐ奄美の島唄」として482曲の島唄を6つの地域（奄美大島北部、奄美大島南部、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）ごとに収録した歌詞集やCD、島唄関連の行事等を収録したDVD等を作製しました。</p> <p>これらは、現在、県立奄美図書館や奄美群島内の各公民館などで、閲覧いただけるほか、一部施設においては貸出も行っております。</p> <p>その他、歴史・美術センター黎明館で開催した企画特別展「ほこらしや奄美」や、その関連イベントにおいても、島唄の魅力を紹介するほか、地域の島唄等の文化や郷土芸能の伝承活動に対し、支援も実施しているところです。</p> <p>今後とも、これらの取組等を通じて、奄美地域固有の伝統文化である島唄の保存・継承や情報発信に引き続き取り組んでまいります。</p>	文化振興課
定年した方の移住について	内地で定年を迎えた方が、移住して来るような受け皿があってもいいのではないか。	<p>県では、大都市圏における移住・交流セミナーの開催など、市町村と一体となって、本県への移住人口の増加を目指した取組を進めています。</p> <p>また、国は、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」の推進を図ることとしており、県においても、この取組を推進する意向の市町村に対し、支援をしていきます。</p>	地域政策課

知事とのふれあい対話（宇検村）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>沖縄との交流に係るLCC就航について</p>	<p>沖縄と文化圏が一緒なので、もっと交流を盛んにするために、沖縄と奄美の間にLCC航空とか就航できないか。</p>	<p>LCCの就航実現に向けては、航空事業者の意向が重要であり、また、年間を通じた需要の掘り起こし等の課題もあるところです。</p> <p>県においては、引き続き事業者の意向把握に努めるとともに、就航に向けた働きかけを行ってまいります。</p> <p>また、沖縄県と共同で、奄美群島と沖縄との間の運賃軽減やプロモーション、ルートづくり等に取り組んでいるところであり、今後とも両地域の交流促進に努めてまいります。</p>	<p>交通政策課</p>
<p>リュウキュウマツの苗木の植栽について</p>	<p>無人島の枝手久島にリュウキュウマツの木があったが、マツクイムシの影響で全滅した。知事がせっかく来たのでリュウキュウマツの苗木をプレゼントしていただけないか。</p>	<p>マツについては、痩せ地に強く、松くい虫被害等により一度枯れても自然に植生してくるところもあり、奄美大島のリュウキュウマツについても、一度枯れた場所で稚樹や若木が成育しているところを見ることが出来ます。</p> <p>枝手久島についても、リュウキュウマツ本来の生育地で自然に育つリュウキュウマツの姿を見守っていくことも大切だと考えています。</p>	<p>環境林務課</p>